

『風は南から』

令和6年度 校長室便り
(11月13日)(第13号)



「教育の島」沖永良部島

先日図書館から「西郷隆盛と沖永良部島」という本を借りました。沖高に2回勧められた「先間政明」先生が書かれた本です。西郷さんの教えた20名の弟子たちが、その後の沖永良部島の発展に貢献したことは周知のことですね。弟子の一人で後に村長となった操垣勤さんは、川畑祝人さんと明治29年に夜学舎「新進舎」を創設し、そこに和泊・手々知名出身の学童の有志が集まり、自主自発学習に取り組んでいます。そして、その取組が全島に広がって、大正から全集落の小組合長に、夜学校、日曜学校ができ、小学校尋常科1年から高等科3年までの男女全学童が集まって、予習復習をして学業成績をあげて、向学心旺盛で学力の高い沖永良部島をつくりあげたそうです。その時の合い言葉が、「南海の離れ島に生を受けたけれども、二倍の勉強、努力によって、本土の子どもたちにひけをとらないようにしましょう」でした。なぜ、沖永良部島が「教育の島」と言われているのかがよく分かりました。その思いは、脈々と受け継がれてきています。

11月11日 学科朝会



11月11日(月)は、普通科と商業科に分かれて学科朝会がありました。普通科では、1・2年生の「せりよさ(総合的な探究の時間)」の活動内容をそれぞれの代表者が発表しました。1年生は、若宮さんが「地域のこと・世界のことを知る」目的で和泊町役場の協力を得ながら、「SIMおきのえらぶ2050」という未来の沖永良部島のことを考えるための事業仕分けのゲームに取り組んでおり、現在使用するカードを制作していることを話しました。2年生は、徳田さんが「自分と社会を知る」ことを目的に、自分の好きなテーマで探究活動をしており、徳田さんは「プリキュアとセーラームーンの違い」について探究していることを報告しました。他にも「ジブリの人気の秘密」「じゃんけん必勝法」「アメリカ英語とイギリス英語の違い」「超人を作るのは可能か」等のテーマで探究しているようです。面白くなりそうですね。

「修学旅行出発前説明会」



11月5日(火)午後から2年生対象の「修学旅行出発前説明会」が行われました。会では、保護者の同席のもと、2学年主任の岩下先生とJTBの甲斐さんによる詳しい説明がありました。修学旅行までいよいよ残り1か月となりました。今年行き先を東京方面から関西方面へと変更し、船・新幹線・飛行機・JR等あらゆる交通手段を使うこととなります。最後の日の関西から沖縄への移動も大変ですが、「人生最後の修学旅行」が、生徒にとって最高の思い出となり、さらなる成長の場となるように、JTBの協力をもらいながら準備を進めてまいります。生徒の皆さんも、体調管理には十分気をつけて、準備の過程もぜひ楽しんでください。

2年普通科 オンライン合同授業



11月1日(金)2年普通科の「せりよさ」の時間では、岩手県立前沢高校、第一学院高等学校横浜キャンパス、熊本県小国高校と本校の4校で、「総合的な探究の時間」に関するオンライン合同授業を行いました。NP法人カタリバの協力を得て、4校の生徒がバラバラになって班編制をし、一人ひとりがイヤフォンして端末で活動に参加する形式でした。最初にアイスブレイクで自己紹介をした後、現在までの探究活動を報告し合いました。これまでわかったことや今悩んでいること、今後の計画等について班ごとに共有しました。今回は2回目だったので機器の使い方も慣れて、それぞれ楽しそうに報告していました。現在までの研究の進捗状況を探ねると5割りから7割ほどで、まだこれから内容を深めなければならない生徒が多かったようです。今回の活動を参考に、さらに充実した探究活動になることを期待しています。

第34回知名町生涯学習フェスティバル



11月3日(日)13時から「あしびの郷・ちな」で行われた生涯学習フェスティバルに参加しました。最初に、ダンススクールAnotherの華麗なダンスから始まりました。そして、開会行事の中で表彰式が行われ、第24回短歌コンクールでは、2年東さんが高校生の部で大賞を受賞し、福祉作文部門では、2年桂さんが最優秀賞を受賞しました。どちらも素晴らしい内容でした。次に、沖高の卒業生で千葉大学名誉教授の大山中勝先生による講演がありました。「私の郷土の教育に対する思い～奄美国際大学の開設へ」という演題で、先生が小学4年生の時に肺結核を患い長期間にわたり入院生活を強いられながらも努力し、琉球大学からアメリカ州立大学へ進学して、千葉大学で教鞭をとることになった経緯を話され、逆境に負けずに努力し続けることの大切さを説かれました。また、これから国際社会で活躍する人材を育てるために、奄美群島の子どものための「奄美国際大学」の構想を話されました。高い壁をいくつも超えなければならないそうですが、ぜひ実現してほしいと思いました。そして、公民館講座の舞台発表が続き、最後にエイサー部の全国総文祭鹿児島県予選で披露する演目のお披露目がありました。各字の伝統芸能を取り入れた素晴らしい内容で、多くの方から「感動しました」というお褒めの言葉をいただきました。